

SOLUTION REPORT

クボタ ソリューションレポート

宮城県名取市
農機研修会

宮城県 × クボタ 包括連携協定締結後初めてのイベント 女性や初心者向けの機械セミナーを開催！



2021年11月10日、宮城県名取市にある、宮城県農業・園芸総合研究所にて、みやぎのキラリ輝く女性応援事業の一貫として、機械作業が不慣れな女性農業者や、新規就農者を対象に「輝け農業女子！機械セミナー」が実施されました。

今回の企画は、宮城県と(株)クボタが2021年7月に締結した農業分野における包括連携協定の具体的な取組みとして、宮城県、(株)南東北クボタ、クボタアグリサービス(株)仙台事務所、(株)クボタが協力して行う第一弾のイベントとなります。

午前は屋内で講演、午後は農業・園芸総合研究所内のほ場で草刈機、家庭菜園向け管理機、小型トラクタなどの、初心者でもわかりやすい農業機械を使っでの実習が行われ、参加者は講師のサポートの下、熱心に講習を受ける姿が印象的でした。



▲参加者と関係者で記念撮影(写真撮影時のみマスクをはずしています。)

令和3年度 みやぎのキラリ輝く女性応援事業 輝け農業女子！機械セミナー 概要



宮城県農業・園芸総合研究所

主催挨拶



宮城県農政部農業振興課
農業普及指導専門監

泉澤 弘子 様

宮城県の基幹的農業従事者の内、女性は37%を占めています。県としては、女性を農業の重要な担い手として位置づけており、女性の能力を十分に発揮できる環境を整え、資質向上を図るため、女性を中心としたセミナーを開催しております。

過去に一度、農業機械のセミナーを開催したところ、評判が良く、今回のセミナーでは、7月に農業分野に関する包括連携協

定を締結した、(株)クボタ、そしてグループ会社である(株)南東北クボタ、クボタアグリサービス(株)仙台事務所の協力をいただき、農業機械のセミナーを再度行うことができました。最先端の機械や高度な技術に触れ、経営に活かしていただければと思います。

受講者の皆様へのメッセージ



(株)クボタ
アグリソリューション推進部
営農技術課長

廣兼 以斉

コロナ禍において、あらためて「農業」は世の中にとって不可欠な産業であるということが再認識され、同時に農業に関わる弊社としても、現場の大切さを感じました。

農業を守ることや、発展させていくためには、「新たな技術の普及、拡大」や「人材の確保や育成」、「農産物の需要拡大」など、多岐にわたる取組みが必要になります。

特に、本セミナーの対象者であります女性農業者、新規就農者の方々に、新しい挑戦をして頂き、農業発展につなげていただくことは、非常に重要なことです。

本セミナーについては宮城県様と共同で準備をまいりました。実機を含め十分に確認頂き、今後の皆様の営農に、少しでもお役立ちできれば幸いに存じます。

講義・実習

午前 講義



▲セミナーで配布された資料

(1)宮城県で活躍するスマートな農業機械と農業者たち



株式会社クボタ
アグリソリューション推進部
技術顧問

及川 一也

(2)あなたもできる農業機械の簡単メンテナンス



株式会社南東北クボタ
サービス事業部
部長

大木 勝治

午後 実習

(農業・園芸総合研究所内)
ほ場に移動



主催の声



宮城県農政部農業振興課
農業人材育成班 技術主幹

千田 晶子 様

包括連携協定の締結は機械関係の行事が 開催しやすくなります

宮城県でも少子高齢化によって人手が減少しており、女性農業者は重要な担い手だと考えています。これまで女性を対象にした研修会は行っていたのですが、主に加工などの女性が得意な分野の研修会でした。

近年、個人経営を考える方が増えてきていることもあり、機械に不慣れな女性の方や、加えて新規就農を目指す男性の方を対象にした機械のセミナーを企画しました。7月に農業分

野に関する包括連携協定を(株)クボタと締結した関係で、最初の取り組みとして共同で農業機械セミナーを実施することができました。担い手不足により、今後ますます機械での作業が重要視される中、(株)クボタとの包括連携協定の締結は、農業機械に関する研修会や取組等が行いやすくなったと感じています。

機械作業はまだ男性的なところもありますが、スマート農業のような先進技術は女性や初心者に対して優しいことを、研修会を通じて周知していければと考えています。



▲新型コロナウイルス感染対策により、参加者には入場前に検温・消毒などが徹底された

▼女性が多く参加することもあって、可愛くデコレーションされた名札



参加者の声



宮城県名取市

中川 静香 様

実際に機械が体験できて プロに指導を仰げるので良いセミナーでした

新規就農を目指して、宮城県農業大学のニューファーマーズ・カレッジの農業マスタークラスで研修を受けています。管理機の購入を考えていて、実機に触る機会が欲しかったのと、機械に対する苦手意識を克服しようと、今回のセミナーに

参加しました。座学だけではなく、実際のトラクタに試乗ができたり、実機の操作を体験できることは良いですね。講師であるクボタさんが、丁寧に機械の説明をしていたので、とてもわかりやすく、面白いセミナーでした。

私は、農業は子育てしやすい環境だと考えていて、祖父母が農業をする姿を見ながら育ったこともあり、就農を目指しています。現在は研修生ですが、将来はトマト農家として、少しでも美味しいトマトを届けていきたいです。



▲JB13XNに試乗する中川様



宮城県仙台市
庄子農園

庄子 さおり 様

栽培面積

野菜(多品目)1.5ha、水稲1.5ha

初心者向けの機械セミナーなので 安心して参加できます

宮城県指導農業士^{※1}をしている関係で、お世話になっている県の方に、事前に今回のセミナーについて内容をお伺いしました。家で作業をするときに「危ないから」と機械をなかなか触らせてもらえないことがあります。今回のセミナーは実際の機械を使用している講習ということで参加しました。

最近、非農家から農家に嫁いできて、農業に携わるように

なった女性の方に「農業のことはどこで学べば良いのでしょうか?」と聞かれることがあります。今回のセミナーは機械に特化した講習会でしたが、農業の基礎知識、栽培講習、安全講習など、入口のようなセミナーがあれば、若手女性農業者が増えるのではと感じました。

セミナーでは、機械メンテナンスの部分で、「オフシーズンには使っていない燃料は抜いておく」など、実際家ではやってないメンテナンスの方法が勉強できたので、今日は来てよかったと思います。

(※1 宮城県指導農業士:県内において優れた農業経営を実践し、地域産業の振興や後継者育成に指導的な役割を担っている方)



▲軽量型畦畔草刈機GC-Q60を体験する庄子様

機械実演会および実習 (農業・園芸総合研究所内ほ場)

機械説明

クボタアグリサービス(株)仙台事務所 担い手推進部 相澤 正人 部長

①草刈機

刈払い機、水田の畦草刈機、法面用草刈機、ラジコン草刈機を用意。使用する場面によってさまざまな機械があることを知っていただき、機種を選択や実際の操作を体験していただきました。



▲MB360Bバッテリータイプ(左)とLPB228EU女性向け軽量仕様(右)



▲ラジコン草刈機ARC-500



▲カルマックス GC-K401EX(左)とカルキュート GC-Q60(右)

②家庭菜園向け管理機

車軸耕うんタイプとロータリタイプ2種類を準備。管理機はアタッチメントの交換により耕うんのみではなく、うね立て、中耕培土、マルチ作業など様々な作業に対応できるところを見ていただきたいと思い準備しました。



▲TMA350(左)とTRS600(右)

③トラクタ

機械操作に不慣れな方でも扱いやすい小型のシンプルな機種を準備して、実際の耕うん作業や旋回のやり方を体験していただきました。多くの参加者に興味を持っていただき、行列ができるほどでした。



▲JB13XN



(株)南東北クボタ

新妻 敏宏 部長

女性農業者が増えることによって、 農業業界の飛躍を期待します

女性でも農業業界で活躍できるということ、機械面からお伝えできればと、今回のセミナーを楽しみにしていました。今日、セミナーの参加者と話をし、女性の方も機械を触りたいのだと感じました。何十年前は、機械操作も複雑でしたが、最近の機械は扱いやすく、むしろ補助者のほうが大変な業務になるところがあります。女性でも扱いやすい機械も多くありますので、これからは、女性目線でもお客様に接していくことも必要だと感じています。

今まで農業は男性社会でしたので、女性の方が農業に参入してくることで、「きつい、汚い、危険」の3Kのイメージが少しでも薄まり、さらなる新規農業者が増えれば良いと考えています。今回参加された方の中には、新規就農を目指す方もいらっしゃいますので、機械面を含めて、総合的にお手伝いをしていけたら良いと考えています。



▲新規就農を目指す中川様と意見を交わす新妻部長



クボタアグリサービス(株)
仙台事務所
担い手推進部

相澤 正人 部長

初心者でも簡単な、 シンプルで扱いやすい機械を選定 安全講習も力を入れて行いました

初心者でも扱いやすく、身近な機械を中心に、草刈機や、家庭園芸向けの小型の管理機を選定。トラクタも大小様々な馬力帯を取り扱っていますが、今回は機械に不慣れな方向けということで、基本機能のみでシンプルで扱いやすいトラクタを用意しました。また近年、農作業事故が減らないということもあり、農機具を扱う立場なので、安全啓発に力を入れて行いました。

実習は思った以上に関心が高く、熱心に色々な機械の試乗や体験をしていただきました。家にトラクタがある方は、家でも体験できると思うのですが、こういったセミナーだと基本的なことが学べるので安心感もあって試乗意欲が湧くのかなと。今後、女性や初心者の方へのサポートが必要になったときは、今回の経験を活かして活動していきたいと考えています。



▲ほ場にて参加者に実習の説明を行う相澤部長